本を読むべき３つの理由

「本を読め」と大人や友人知人にまともな理由も教えてもらえずに、言われた事が誰しもあると思いますが、どうして本を読んだ方が良いのでしょうか？

ストレス軽減、集中力、記憶力アップ、アルツハイマー病になる可能性軽減など脳科学的な利点はあれど、そんなのを聞いてもあまり本を読むことに対して気が向かないあなたに、私が思う本を読むべき理由を３つご紹介したいと思います。

１．他人の経験から学べる

例えば、あなたが会社を倒産させずとも、会社を倒産させた経験をした誰かが居て、その人の失敗からあなたが実際に会社を倒産させずとも、どんな気分なのか？何をすればそんな状態を回避出来るのか？と言う事を学べるわけです。

自分で経験して痛い目を見るのか？他人の経験を読んで「うわ～、こうならないようにしないいとｗ」と思うのか、選べるわけです。

もちろん、あなた自身が経験する事は大事です。ただ、あなたがやろうとしている事、置かれている困難など、既に誰かが経験しているのなら、その多くが記されてる本を読んで、自分が失敗する確率を下げると言うのが、どう考えても妥当策ではないでしょうか？

２．語彙力アップ、引出増やす

誰しもが語彙力をアップさせて、他人に見せびらかしたい物ですよね？引出増やして、「この人、物知りだな」と思われたい物ですよね？

本を読むのが良いでしょう。言わずもがな、色んな言葉や言葉の言い回しが綴られているのが本であり、色んな作者や本のジャンルを読むのが、語彙力アップや引き出し数アップに繋がるわけです。

３．心の知能指数アップ

特にフィクション系の本を読む時に心の知能指数akaＥＱaka他人に共感したり自制する能力のアップが出来ると言う研究結果があるのですが、要するに色んなキャラクターの思考や行動を目の当りにする事によって、あなた自身がその人のレンズから物事を見て、色んな観点や人の立場に立つと言う事が出来るようになって、より相手の立場から物事を見れるようになると言う仕組みです。

相手の立場から物事を見る事が出来れば、あなたが欲しい物を手に入れる事が出来る可能性が高まるわけで、相手が欲しい物が分かれば、相手の思考回路が分かれば、それを利用する事も簡単、何の餌を与えれば良いか分かるわけですし、あなたにとって有利に物事を運べると言うのは、人間に置けるダークサイドな理由ですが、相手の立場に立って物事を考えられる俗に言う、良い人になれる方法でもあります。

最後に、別に本で無くても、今述べた事が身に付きます。人と話したり、辞書を読んだり、動画を見たりなど色んな方法はありますが、本は安くて、いつでも読めて、あなたのペースで進められてと言うように、利便性やコストなど、総合的に良い方法と言うわけです。

本、それはあなたの自己成長のため、あなたの価値をより高めるため、あなたが成功する可能性を高まるためにあるのです。本はあなたのためにあるのです。

本を読んでみてはいかがでしょうか？